

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
Communication 英語 I	3	1年・1類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
宮嶋、徳地、川口、Alejandro	Revised BIG DIPPER (数研)		プリント等 ユメタン0 (アルク)

科目の到達目標	<b>英検準2級以上を取得できる程度の力を身に着ける。</b>
【Reading】	簡単な説明文を理解することや、図や表から情報を得ることが出来る。
【Listening】	日常生活での話題や簡単な説明・指示を理解することが出来る。
【Writing】	興味関心のあることについて簡単な文章で書くことが出来る。
【Speaking】	日常生活で簡単な用を足すことや、興味関心のあることについて考えを述べる事が出来る。

<b>【評価の観点と方法について】</b>
定期試験、小テスト、パフォーマンステスト、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	Lesson 1～2	各レッスンのトピックに関して、発展的な考え方ができるようになる。(Team Teaching)	・英単語のクイック・レスポンス ・英単語テスト ・ペアワーク ・表出活動
	5	<中間考査>	運用語彙や表現を増やす。	・パラグラフ・チャート ・音読活動 (さまざまな方法で実施する)
	6	Lesson 3～4	文章の成り立ちのしくみを理解する。  日本語訳を介さないで英文が読めるようになる。(内容理解) そのために異なる目的で複数回、速読する。	・確認テスト ・シャドーイング ・ディクテーション など
	7	<期末考査>	テキストの音声を用いてリスニング力を養成する。	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二学期	9	Lesson 5～6	1学期に同じ	1学期に同じ
	10	<中間考査>		
	11	Lesson 7～8		
	12	<期末考査>		
三学期	1	Lesson 9～10	1学期に同じ	1学期に同じ
	2			
	3	<学年末考査>		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

英語の基本は語彙力です。毎週行われる「ゆめたんテスト」合格を目指して努力してください。また、将来英語が使えるようにするための素地として、英文を頭に残しておくことも大切なので、本文を理解した後にしっかり音読をし、使える表現を増やしていきましょう。

そして、英語学習において音源を活用することは重要です。テキストの本文音声 CD をコピーしますので、希望者は申し出てください。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
コミュニケーション英語 I	4	1年・2類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
岡田 真悟 アレハンドロ	LANDMARK (啓林館)		ユメタン0 (アルク) LANDMARK ワークブック

<b>科目の到達目標</b> 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。
--

<b>評価の観点と方法について</b> 定期考査70%以上。平常点としては、単語・構文の小テストの点数、音読や暗唱の確認テスト、予習や授業中の態度を考慮して30%以内とする。
--

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	Lesson1 What Can Blood Type Tell Us?	Input (理解) した英文を繰り返し intake (練習) することを目指す。内容を理解した英文をしっかり暗記し練習していくことで、output (発話) できる表現を増やしていく。	予習の段階において、本文を読みながら、新出単語の意味確認を行う。授業中は T/F、part 内の重要構文を中心に解説を進める。その後音読練習で本文の暗記を目指す。	リスニングの試験において大切なことは、その音を聞いて、瞬時にその単語の意味を理解できるということである。まずはユメタン0を用いて、基礎的な単語を通して、リスニングの基礎を養成する。	英語の音に慣れることを目指し、単語から短い文のディクテーションを目指す。まずはユメタン0を用いて、毎時間100語ずつクイックレスポンスを行う。
	5	Lesson2 Curry Travels around the World.				
	6	Lesson3 School Uniforms				
	7	Lesson4 Gorillas and Humans				
		中間考査				
		期末考査				

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	Lesson5 "gr8" or great?				
	10	Lesson6 Biodiesel Adventure  中間考査				
	11	Lesson7 Eco-tour in Yakushima				
	12	Lesson8 Mariko Nagai, Super Interpreter  期末考査				
三 学 期	1	Lesson9 Space Elevator				
	2	Lesson10 Friendship over Time				
	3	学年末考査				

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

授業はもちろんですが、復習を大切に、まずは英語学習に向かう姿勢づくりをしてください。また、授業中に出された課題（ユメタン、小テスト、本文音読・暗唱など）に積極的に取り組み、この1年間しっかりと基礎固めをしましょう。

授業内で指示される小テストや提出物などのスケジュールを主体的に管理し、計画的に勉強を進めていきましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
Communication 英語 I	4	1年・3類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
宮嶋、徳地、川口、Alejandro	Revised BIG DIPPER (数研)		プリント等 ユメタン0 (アルク)

科目の到達目標	<b>英検準2級以上を取得できる程度の力を身に着ける。</b>
【Reading】	簡単な説明文を理解することや、図や表から情報を得ることが出来る。
【Listening】	日常生活での話題や簡単な説明・指示を理解することが出来る。
【Writing】	興味関心のあることについて簡単な文章で書くことが出来る。
【Speaking】	日常生活で簡単な用を足すことや、興味関心のあることについて考えを述べる事が出来る。

<b>【評価の観点と方法について】</b>
本クラスの評価は、定期試験、小テスト、パフォーマンステスト、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	Lesson 1	各レッスンのトピックに関して、発展的な考え方ができるようになる。(Team Teaching)	・英単語のクイック・レスポンス ・英単語テスト ・ペアワーク ・表出活動
	5	<中間考査>	運用語彙や表現を増やす。	・パラグラフ・チャート ・音読活動 (さまざまな方法で実施する)
	6	Lesson 2	文章の成り立ちのしくみを理解する。  日本語訳を介さないで英文が読めるようになる。(内容理解) そのために異なる目的で複数回、速読する。	・確認テスト ・シャドーイング ・ディクテーション など
	7	<期末考査>	テキストの音声を用いてリスニング力を養成する。	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	Lesson 3	1学期に同じ	1学期に同じ
	10	<中間考査>		
	11	Lesson 4		
	12	<期末考査>		
三 学 期	1	Lesson 5	1学期に同じ	1学期に同じ
	2			
	3			
		<学年末考査>		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

英語の基本は語彙力です。毎週行われる「ゆめたんテスト」合格を目指して努力してください。また、将来英語が使えるようにするための素地として、英文を頭に残しておくことも大切なので、本文を理解した後にしっかり音読をし、使える表現を増やしていきましょう。

そして、英語学習において音源を活用することは重要です。テキストの本文音声 CD をコピーしますので、希望者は申し出てください。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語表現 I	2	1年I類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
宮嶋 徳地 川口	English Expression I Standard be		be 総合英語 be Workbook be 暗唱例文集 等

<b>科目の到達目標</b> ○自分の思いや考えを作文できることを見通して、例文を活用できる。 ○積極的に聞いて英語に慣れようとする態度が身に付いている。 ○相手(ネイティブスピーカー)に伝わることを意識できる。 ○自分や身近なことについて3往復程度のやりとりができる。
---

<b>評価の観点と方法について</b> 習熟度を測ることはもちろん、生徒個々の努力も十分に評価する。 定期考査に加え、平常点を加味して評価する。 平常点は、プリント・ノート等の提出、宿題・提出物の内容、小テスト、学習態度等に基づいて算出する。
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント	
一 学 期	4	1st Zone Lesson 1	現在形	① 状態動詞・動作動詞を理解する。 ② 現在、過去、未来についての英文を書くことができる。 ③ 近い未来の予定について簡単な文章を書くことができる。	①授業に積極的に参加しているか。  ②板書事項をしっかりと写せているか。	
		Lesson 2	過去形 未来形			
	5	Lesson 3	現在完了形	① 現在完了の完了、結果、継続、経験の用法を理解する。 ② 現在完了と過去形の違いを理解する。 ③ 過去完了、未来完了の完了、結果、継続、経験の用法を理解する。 ④ 現在完了、過去完了、未来完了を用いて簡単な文章を書くことができる。	③予習・復習がなされているか。	
		Lesson 4	過去完了 未来完了			
	6	中間考査				④小テストや課題にしっかりと取り組んでいるか。
		Lesson 5	助動詞1	① 助動詞を使って、能力・許可・義務・禁止・推量などを表すことができる。 ② それぞれの助動詞を使って簡単な文章を書くことができる。		
		Lesson 6	助動詞2			
		Lesson 7	助動詞3			
	7	Lesson 8	受動態	① 受動態を使って適切に英文を書くことができる。		
		Lesson 9 期末テスト	文型	① 動詞の後に来るか SV00, SV0Cを理解する。		

	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9 2nd Zone Lesson 10	不定詞1	① 不定詞の名詞的用法を理解し、適切に英文を書くことができる。	
	Lesson 11	不定詞2	① 不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を理解し、適切に英文を書くことができる。	
	10 Lesson 12	不定詞3	① 使役動詞や知覚動詞の後に原形不定詞がくることを理解し、適切に英文を書くことができる。	
	中間考査 Lesson 13	動名詞	① 動名詞の基本的な働きを理解し、適切に英文を書くことができる。 ② 動名詞の受動態や完了形を理解し、適切に英文を書くことができる。	
	Lesson 14	不定詞と動名詞	① 動詞の目的語に不定詞をとるか、動名詞をとるか動詞によって見分けることができ、適切に英文を書くことができる。	
	11 Lesson 15	分詞1	② 分詞が名詞を修飾する用法と保続となる用法を理解し、適切に英文を書くことができる。	
	Lesson 16	分詞2	① 知覚動詞 + 0 + 分詞 や分詞構文を理解し、適切に英文を書くことができる。	
12 期末考査				
三 学 期	1 3rd Zone Lesson 17	関係詞1	① 関係代名詞の主格・目的格・所有格を理解し、適切に英文を書くことができる。	
	2 Lesson 18	関係詞2	② 関係代名詞の制限用法と非制限用法を理解する。 ③ 関係代名詞 What を理解する。	
	Lesson 19	関係詞3	④ 関係副詞を理解する。 ⑤ 関係詞代名詞・関係副詞を理解して適切に英文を書くことができる。	
	3 Lesson 20	比較1	① 原級・比較級・最上級を理解する。 ② 原級・比較級を使って最上級の意味を表す。	
	Lesson 21 学年末考査	比較2	③ 様々な比較表現を理解する。 ④ 様々な比較表現を使って適切に英文を書くことができる。	

### その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

「文法」と「書くこと」を中心に授業をします。この学年が大学を受験する年から入試が変更されます。センター試験に代わる「大学入学共通テスト」と文部科学省が認定する英語の資格・検定試験が活用される方針です。「共通テスト」は、センター試験と同様に「読む」「聞く」力を測りますが、それに加えて「話す」「書く」力も測るために資格・検定試験が活用されると言われています。そのため「読む」ための基本的な力となる文法、また「書く」ための正しい文法、さらに「話す」ためには、例えばプレゼンテーションやディスカッションでも話す材料がなければできません。単に単語だけ話すわけではありません。ある程度のまとまった文章を言えるようになる。そのためには文法を理解し、教科書に出てくるような基本例文を成り立ち等も理解して暗記できるようになると、自然と「話す」力にもプラスアルファになってきます。そのためにも教科書やワークブックの英文を意識的に声に出して読む習慣もつけるようにしましょう。

またワークブックでは教科書に出ていない単語が出てきます。Vocabulary という欄がありますが、そこにでてる単語は、辞書やユメタンで調べるようにしましょう。そうすることで語彙力が上がります。



科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語表現 I	3	1年・2類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
岡田真悟	Vision Quest I Advanced (啓林館)	総合英語 FACTBOOK (桐原書店) FACTBOOK ワークブック (桐原書店)	

<b>科目の到達目標</b> 英語を理解するうえで必要不可欠な文法・語法の基礎をしっかりと身につける。    
--

<b>評価の観点と方法について</b> 定期考査は70%以上、平常点は30%以下として評価する。 平常点は、小テスト、宿題・提出課題の内容、学習態度等に基づいて算出する。   
---

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	Lesson1 文の種類  Lesson2 文型と動詞	文法の土台作りに励む。	それぞれの項目の問題を解きながら、参考書やワークブックを用いて、基本事項を確認・復習する。	各単元・項目がどれくらい理解できているかをチェックする。
	5	Lesson3 時制  Lesson4 完了形  中間考査			
	6	Lesson5 助動詞  Lesson6 受動態			小テストの取り組みや宿題の提出状況をチェックする。
	7	Lesson7 不定詞  期末考査			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	Lesson8 動名詞			
	10	Lesson9 分詞			
		中間考査			
	11	Lesson10 関係詞			
		Lesson11 比較			
	12	期末考査			
三 学 期	1	Lesson11 続き			
	2	Lesson12 仮定法			
	3	学年末考査			

### その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

中学で習った英文法で大学英語入試の8割が解けると言われています。皆さんの中で、その8割に相当する中学英語が完璧に身につけている人がどのくらいいるのでしょうか。現役高校生に中学英語が身につけているかのテストを実施すると、1%未満の生徒しか正解できなかったという調査結果もあります。ほぼゼロに等しいといっても過言ではありません。

この一年間は、今一度、英語の基礎作りに焦点を当てます。「よくわからない」や「多分わかる」を完璧に「わかる」と自信を持って言えるようにしていきましょう。